

平成28年度福島県立図書館協議会次第

日 時 平成28年8月26日（金）

午後1時30分から

場 所 県立図書館 第1研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 議事録署名人の選出

4 議 事

(1) 報告事項

① 図書館利用実績について（平成28年7月末現在）

資料1

② 平成27年度図書館協議会における検討事項の取組状況について

資料2、6

③ 「特殊文庫・貴重資料紹介コーナー」の設置について

資料3

④ 「県民のくらし応援文庫」（寄贈制度）の創設について

資料4

(2) 協議事項

① 「福島県立図書館アクションプラン（第2次）」の取組状況について

資料5

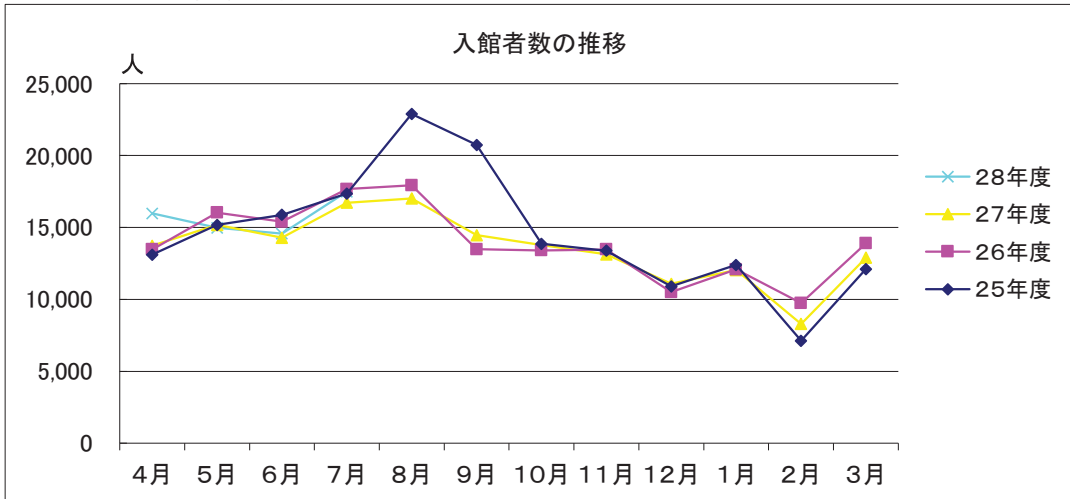
(3) その他

5 閉 会

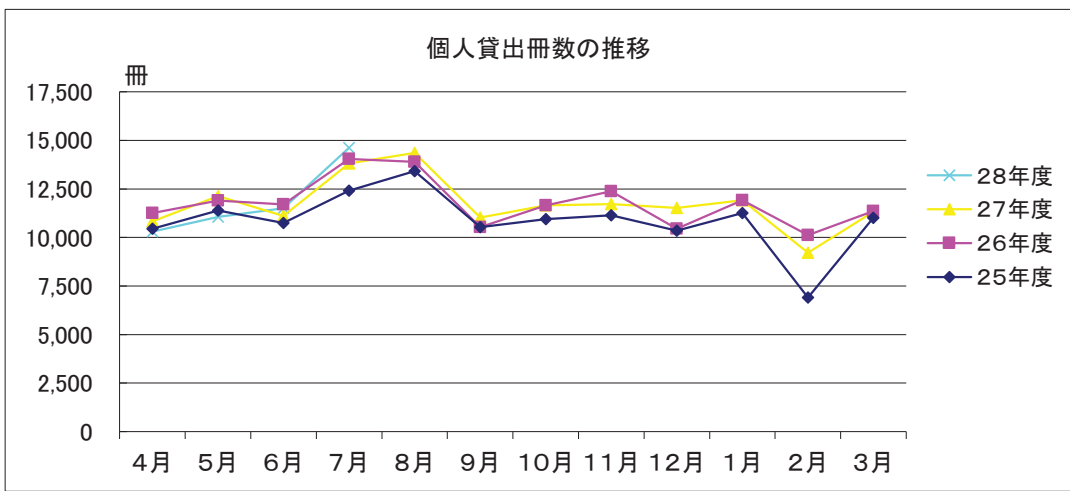
図 書 館 利 用 実 績

福 島 県 立 図 書 館

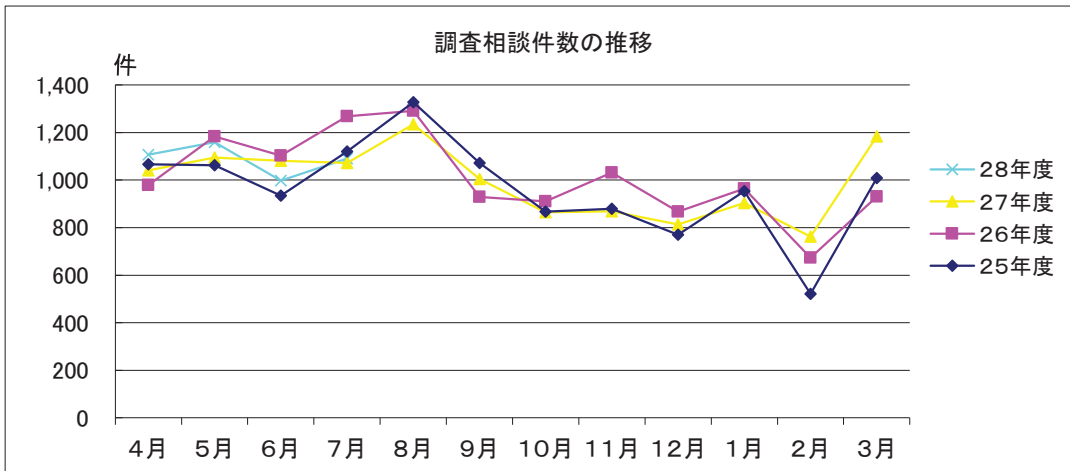
平成28年7月現在



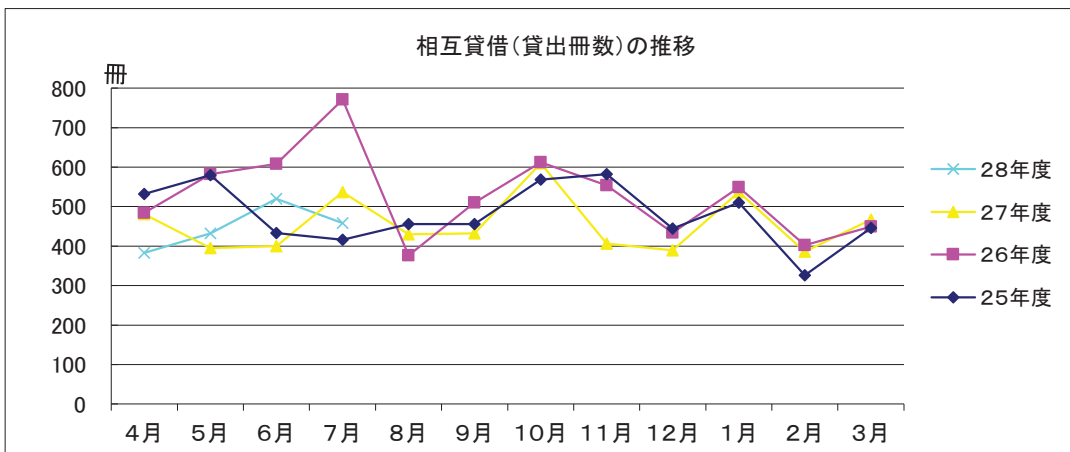
区分	年度	計
入館者数	25	174,911
	26	167,097
	27	162,594
	28	63,018
開館日数	25	285
	26	288
	27	178
	28	101
一日当たり入館者数	25	614
	26	590
	27	565
	28	624



区分	年度	計
貸出冊数	25	130,545
	26	141,191
	27	140,598
	28	47,474



区分	年度	計
調査相談件数	25	11,585
	26	12,133
	27	11,928
	28	4,356



区分	年度	計
貸相互貸借冊数	25	5,749
	26	6,331
	27	5,470
	28	1,793

平成28年度 図書館利用実績 【 4月～7月分 】

1. 入館者数及び開館日数

区分	入館者数			開館日数		一日当たり入館者数		
	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度	/	63,018	69.2	/	101	/	624	69.9
平成27年度	162,594	59,905	65.8	288	102	565	587	65.8
平成26年度	167,097	62,569	68.7	283	101	590	619	69.4
平成25年度	174,911	61,509	67.6	285	100	614	615	68.9
平成24年度	169,623	54,158	59.5	283	97	599	558	62.6
平成23年度	85,545	6,819	7.5	209	15	409	455	50.9
平成22年度	232,133	91,021	100.0	269	102	863	892	100.0

こどものへや入館者数（再掲）

区分	入館者数			一日当たり入館者数		
	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度	/	20,646	72.5	/	204	73.2
平成27年度	55,276	18,073	63.5	192	177	63.5
平成26年度	51,683	18,861	66.2	183	187	66.9
平成25年度	50,649	17,320	60.8	178	173	62.1
平成24年度	55,296	18,467	64.9	195	190	68.2
平成23年度	42,917	4,175	14.7	205	278	99.7
平成22年度	78,204	28,471	100.0	291	279	100.0

※ 東日本大震災による被災のため、平成23年3月12日から7月14日までの125日間休館した。

※ 平成23年7月15日からエントランスホール等の一部を利用して開館した。（～平成24年4月22日）

2. 登録者数

区分	新規			更新			合計		
	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度	/	1,300	77.6	/	513	73.5	/	1,813	76.4
平成27年度	3,145	1,140	68.0	1,422	516	73.9	4,567	1,656	69.8
平成26年度	3,577	1,386	82.7	1,260	402	57.6	4,837	1,788	75.3
平成25年度	3,285	1,192	71.1	1,452	544	77.9	4,737	1,736	73.1
平成24年度	3,248	1,103	65.8	1,773	691	99.0	5,021	1,794	75.6
平成23年度	2,019	278	16.6	996	141	20.2	3,015	419	17.6
平成22年度	4,171	1,676	100.0	1,831	698	100.0	6,002	2,374	100.0

3. 貸出利用者数

区分	貸出利用者数		
	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度		13,171	69.3
平成27年度	38,426	13,265	69.8
平成26年度	39,591	13,792	72.6
平成25年度	36,274	12,591	66.3
平成24年度	37,180	12,273	64.6
平成23年度	19,792	1,302	6.9
平成22年度	50,457	18,994	100.0

4. 貸出冊数

区分	平成22年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度	
	年度合計	4～7月計	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	4～7月計	震災前同期比
総記	2,331	983	1,049	52	5.3	1,776	606	61.6	1,574	597	60.7	1,901	624	63.5	1,745	635	64.6	644	65.5
哲学宗教	5,976	2,225	1,706	97	4.4	4,294	1,442	64.8	4,262	1,506	67.7	4,639	1,585	71.2	4,210	1,431	64.3	1,424	64.0
歴史地理	9,470	3,618	3,220	140	3.9	7,431	2,491	68.9	7,089	2,195	60.7	7,636	2,524	69.8	7,002	2,564	70.9	2,132	58.9
社会科学	15,872	5,855	5,488	208	3.6	11,887	3,854	65.8	11,000	3,725	63.6	12,469	3,986	68.1	11,141	3,671	62.7	3,578	61.1
自然科学	9,791	3,977	3,261	197	5.0	6,995	2,331	58.6	6,947	2,305	58.0	7,748	2,711	68.2	7,152	2,490	62.6	2,288	57.5
工学工業	9,152	3,540	3,504	236	6.7	7,151	2,374	67.1	6,824	2,367	66.9	7,186	2,584	73.0	6,635	2,301	65.0	2,009	56.8
産業	5,569	2,328	1,097	51	2.2	3,259	1,097	47.1	3,006	1,152	49.5	3,633	1,186	50.9	3,411	1,299	55.8	1,155	49.6
芸術	10,150	3,992	2,909	120	3.0	8,498	2,670	66.9	8,338	2,859	71.6	8,951	2,987	74.8	8,165	2,792	69.9	2,737	68.6
語学	1,925	718	669	30	4.2	1,216	382	53.2	1,226	403	56.1	1,366	453	63.1	1,299	444	61.8	357	49.7
文学	25,305	9,968	9,017	358	3.6	19,197	6,440	64.6	20,337	7,186	72.1	21,094	7,259	72.8	19,687	6,863	68.9	6,473	64.9
一般計	95,541	37,204	31,920	1,489	4.0	71,704	23,687	63.7	70,603	24,295	65.3	76,623	25,899	69.6	70,447	24,490	65.8	22,797	61.3
地域資料	7,601	3,108	4,079	167	5.4	8,525	3,153	101.4	7,637	2,700	86.9	7,288	2,606	83.8	7,402	2,541	81.8	2,623	84.4
新聞雑誌	10,137	3,537	2,936	214	6.1	8,797	3,202	90.5	8,224	2,730	77.2	8,860	3,068	86.7	8,609	2,917	82.5	2,625	74.2
小計	208,820	81,053	70,855	3,359	4.1	160,730	53,729	66.3	157,067	54,020	66.6	169,394	57,472	70.9	156,905	54,438	67.2	50,842	62.7
児童	74,384	28,399	32,359	2,955	10.4	45,841	15,205	53.5	44,081	15,254	53.7	48,420	17,319	61.0	54,140	17,936	63.2	19,429	68.4
合計	283,204	109,452	103,214	6,314	5.8	206,571	68,934	63.0	201,148	69,274	63.3	217,814	74,791	68.3	211,045	72,374	66.1	70,271	64.2

5. 調査相談件数

区分	一般			児童			合計		
	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度		3,316	80.8		1,040	151.8		4,356	91.0
平成27年度	9,016	3,361	81.9	2,912	929	135.6	11,928	4,290	89.6
平成26年度	9,838	3,650	89.0	2,295	884	129.1	12,133	4,534	94.7
平成25年度	9,203	3,239	79.0	2,382	945	138.0	11,585	4,184	87.4
平成24年度	6,918	2,381	58.0	1,314	383	55.9	8,232	2,764	57.7
平成23年度	3,277	204	5.0	954	148	21.6	4,231	352	7.4
平成22年度	10,893	4,102	100.0	1,698	685	100.0	12,591	4,787	100.0

6. 相互貸借（図書館間の貸借）

区分	平成22年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度	
	年度合計	4～7月計	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	4～7月計	震災前同期比
県内分																			
貸出件数	1,102	405	618	32	7.9	929	311	76.8	971	319	78.8	1,057	386	95.3	1,003	352	86.9	364	89.9
貸出冊数	5,736	2,258	3,645	147	6.5	4,933	1,818	80.5	4,948	1,699	75.2	5,523	2,142	94.9	4,769	1,597	70.7	1,564	69.3
借用件数	127	43	79	4	9.3	89	34	79.1	85	32	74.4	120	24	55.8	129	48	111.6	41	95.3
借用冊数	169	58	101	5	8.6	122	53	91.4	114	40	69.0	169	43	74.1	231	124	213.8	61	105.2
県外分																			
貸出件数	506	179	206	5	2.8	434	125	69.8	534	173	96.6	507	189	105.6	448	148	82.7	146	81.6
貸出冊数	783	253	351	5	2.0	724	190	75.1	801	262	103.6	808	303	119.8	701	216	85.4	229	90.5
借用件数	107	40	66	3	7.5	100	30	75.0	84	22	55.0	109	33	82.5	86	21	52.5	20	50.0
借用冊数	135	49	101	4	8.2	123	40	81.6	118	33	67.3	152	50	102.0	138	46	93.9	31	63.3
合 計																			
貸出件数	1,608	584	824	37	6.3	1,363	436	74.7	1,505	492	84.2	1,564	575	98.5	1,451	500	85.6	510	87.3
貸出冊数	6,519	2,511	3,996	152	6.1	5,657	2,008	80.0	5,749	1,961	78.1	6,331	2,445	97.4	5,470	1,813	72.2	1,793	71.4
借用件数	234	83	145	7	8.4	189	64	77.1	169	54	65.1	229	57	68.7	215	69	83.1	61	73.5
借用冊数	304	107	202	9	8.4	245	93	86.9	232	73	68.2	321	93	86.9	369	170	158.9	92	86.0

7. インターネット端末の利用状況

区分	一般			児童			合計		
	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度		2,372	63.0		17	13.4		2,389	61.4
平成27年度	6,658	2,526	67.1	52	20	15.7	6,710	2,546	65.4
平成26年度	6,707	2,479	65.9	83	45	35.4	6,790	2,524	64.9
平成25年度	5,638	2,191	58.2	61	13	10.2	5,699	2,204	56.7
平成24年度	5,566	1,967	52.3	118	52	40.9	5,684	2,019	51.9
平成23年度	3,395	216	5.7	157	15	11.8	3,552	231	5.9
平成22年度	8,824	3,763	100.0	325	127	100.0	9,149	3,890	100.0

8. 資料宅配サービス利用状況

区分	件数			冊数		
	年度合計	4～7月計	震災前同期比	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度		13	-		108	-
平成27年度	32	12	-	219	78	-
平成26年度	26	9	-	195	51	-
平成25年度	42	17	-	265	85	-
平成24年度	69	24	-	450	173	-
平成23年度	30	1	-	215	10	-
平成22年度	26	0	-	151	0	-

※ 資料宅配サービスは、平成22年6月からサービス対象地域を相双・会津地域と限定してスタートし、その後、平成23年7月からサービス対象地域を福島県内とした。

9. 図書館HP蔵書検索数

区分	年度合計	4～7月計	震災前同期比
平成28年度		170,085	276.8
平成27年度	439,340	126,437	205.8
平成26年度	433,057	85,138	138.6
平成25年度	312,662	86,978	141.6
平成24年度	247,363	85,138	138.6
平成23年度	144,047	26,855	43.7
平成22年度	174,859	61,441	100.0

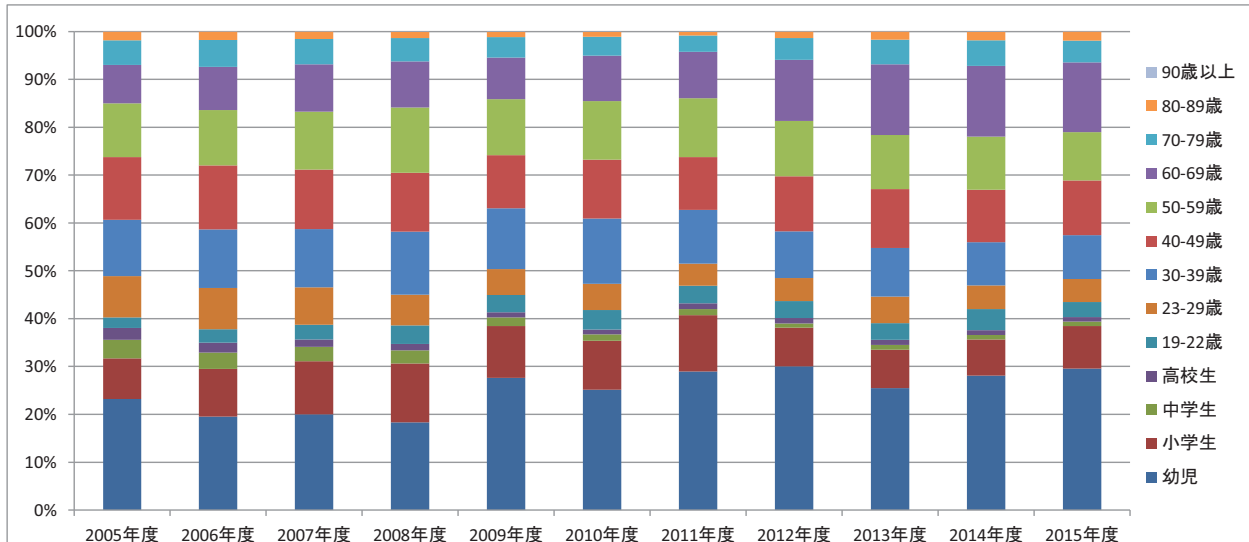
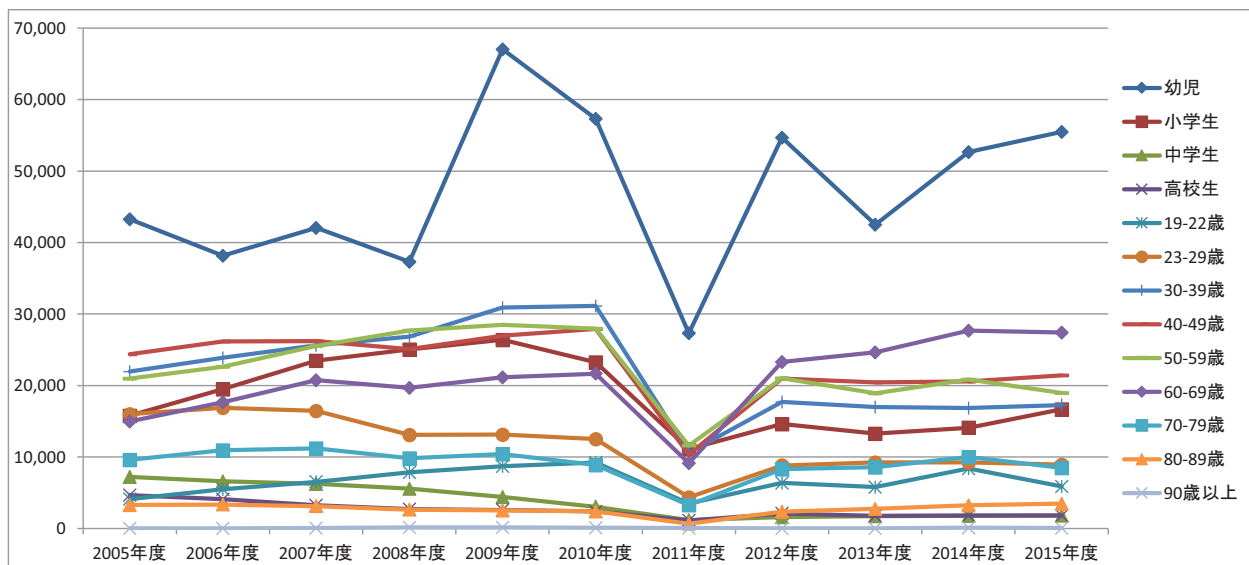
平成27年度図書館協議会における検討事項の取組状況について

資料2

No.	ご意見・ご要望	検討内容	取組状況等(平成28年8月1日現在)
1	<p>地元新聞の原発関連記事の見出し一覧の作成は今後も続けてほしい。</p> <p>地元の記事をもっと首都圏など図書館から外に向けて情報発信してほしい。</p>	<p>見出し一覧の作成は今後も継続して行います。情報発信としましては、インターネットの活用を主眼に、ホームページの充実に取り組んでいるところであり、その中で「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」や「3. 11からの福島の新新聞」などの新聞情報を掲載しています。</p> <p>首都圏向けやホームページを閲覧しない方々に向けた情報発信の手段、方法については今後検討したいと思います。</p>	<p>見出し一覧は現在も継続して作成しています。また、これまで次のとおり、県外向けの情報発信に努めました。</p> <p>○以下の関係機関メールマガジンに、当館HPでの公開状況について掲載を依頼し、紹介されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレントアウェアネス (国立国会図書館発行、No.299.2016.3.3号) ・JLAメールマガジン (日本図書館協会発行、No.787 2016.2.17号) <p>○全国の新聞社による「報道資料研究会」で該当事例を発表し、各社に取り上げられました。</p>
2	<p>本の内容を紹介したPOPをつくってみてはどうか。</p> <p>POPは利用者を書いてもらうなど、利用者に積極的に参加してもらってはどうか。</p>	<p>どのようなことが可能か検討し、ミニ展示、時事展示などから実施したいと思います。</p> <p>その後、利用者の参加について可否も含め検討します。</p>	<p>いろいろなテーマごとに本を集めて紹介するミニ展示や時事展示などにおいて、そのコーナーにPOPを付けることを試みています。</p> <p>引き続き、利用者の参加について可否も含め検討します。</p>
3	<p>企画棚などのコーナーを作って高校生や民間の図書館グループなどの利用を含めた企画を取り入れてみてはどうか。</p>	<p>高校との連携につきましては、高校側の意見や要望を確認しながら検討します。</p>	<p>高校生が作る企画棚などの実施に向け、実施方法等について、今後学校側と具体的な話し合いを進める予定です。</p>
4	<p>どのような年代の人がどのように利用しているかなどの分析をしてみてもどうか。</p>	<p>図書館システムから年代別の利用状況データを抽出し、分析することとしました。その結果により図書選定等に反映させることができるか検討してまいります。</p>	<p>年代別の当館利用状況を別紙のとおり取りまとめ、分析を行いました。その結果、10年前と比較すると中学生、高校生の減少率が激しい一方、60歳代の利用者数が2倍近く伸びていることが分かりました。このため、中学生・高校生向けの資料及び高齢化社会に対応した資料を特に今年度の重点収集項目に上げ、資料の充実に努めることとしました。</p>
5	<p>所蔵資料を活用してグッズを作って提供するなど、図書館にしかないものをアピールしてはどうか。</p>	<p>所蔵資料の有効活用とアピールについて、今後も検討してまいります。</p>	<p>節目となる年や読書週間などに合わせて、所蔵資料を活用したグッズの作成を検討し、そのアピールの機会をできるだけ増やしていきます。</p>

年代別図書館利用状況(貸出冊数)の推移(2005年度～2015年度)

	構成比	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	構成比	対2005年度	
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度		増減	増減比
幼児	23.2%	43,272	38,176	42,067	37,303	67,042	57,334	27,307	54,682	42,515	52,657	55,477	29.6%	12,205	128.2%
小学生	8.5%	15,771	19,493	23,485	25,060	26,404	23,240	11,129	14,634	13,284	14,104	16,676	8.9%	905	105.7%
中学生	3.9%	7,220	6,612	6,264	5,572	4,404	3,049	1,175	1,591	1,737	1,781	1,811	1.0%	-5,409	25.1%
高校生	2.5%	4,668	4,082	3,233	2,705	2,597	2,409	1,120	2,107	1,776	1,812	1,806	1.0%	-2,862	38.7%
19-22歳	2.2%	4,120	5,477	6,538	7,875	8,705	9,234	3,498	6,380	5,802	8,381	5,905	3.1%	1,785	143.3%
23-29歳	8.6%	16,007	16,884	16,457	13,101	13,154	12,509	4,367	8,819	9,231	9,258	8,939	4.8%	-7,068	55.8%
30-39歳	11.8%	21,965	23,884	25,616	26,832	30,901	31,145	10,606	17,711	16,976	16,848	17,285	9.2%	-4,680	78.7%
40-49歳	13.1%	24,371	26,186	26,226	25,119	26,957	27,916	10,367	20,966	20,455	20,566	21,412	11.4%	-2,959	87.9%
50-59歳	11.3%	20,991	22,646	25,553	27,703	28,498	27,972	11,602	21,008	18,908	20,837	18,948	10.1%	-2,043	90.3%
60-69歳	8.0%	14,982	17,674	20,739	19,678	21,136	21,671	9,139	23,302	24,646	27,683	27,437	14.6%	12,455	183.1%
70-79歳	5.2%	9,603	10,956	11,211	9,845	10,412	8,886	3,268	8,305	8,565	10,012	8,485	4.5%	-1,118	88.4%
80-89歳	1.8%	3,295	3,357	3,135	2,641	2,545	2,385	671	2,363	2,743	3,248	3,485	1.9%	190	105.8%
90歳以上	0.0%	31	25	84	159	159	116	63	26	26	129	65	0.0%	34	209.7%
計		186,296	195,452	210,608	203,593	242,914	227,866	94,312	181,894	166,664	187,316	187,731		1,435	100.8%



特殊文庫・貴重資料紹介コーナーの設置について

1 当館が所蔵している特殊文庫

・朝河貫一資料	約 2,800 点	・信田文庫	約 2,400 冊
・井筒文庫	271 冊	・中島文庫	8,105 冊
・小野崎文庫	13,500 冊	・福島県詩人文庫	約 2,500 冊
・佐藤清太文庫	4,358 冊	・放江文庫	849 冊
・佐藤文庫	13,378 冊	・堀切文庫	7,274 冊

2 特殊文庫・貴重資料紹介コーナーの新設について

(1) 設置年月日

平成 28 年 2 月 27 日

(2) 設置の趣旨

これまで保存状態などを考慮し、公開利用をしてこなかった特殊文庫と貴重資料について、その維持を優先しつつ利活用の拡大を図るため。

3 今後創設予定の長田文庫（仮称）について

(1) 経緯

福島市出身の詩人故長田弘氏の遺族から、同氏の蔵書の寄贈について申し出があった。

当館への寄贈は故人の意向であり、詩作のバックボーンとして貴重な蔵書については本県の文化の振興にも寄与することから、受け入れ、文庫を創設することとした。

(2) 内容

和書 約 6,900 冊

洋書 約 1,600 冊

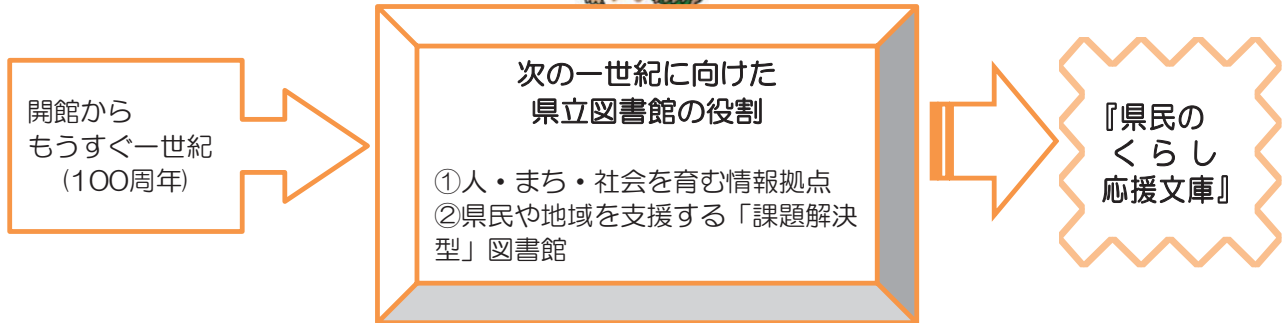
(3) 現況と今後の見込み

現在、このうち約 6 割について、蔵書としての登録作業を終了しており、年内における受納手続の完了、文庫の創設及び特殊文庫・貴重資料紹介コーナーでの公開に向け、作業を継続中である。

『県民の暮らし応援文庫』の創設案

H28.8

1、趣旨



2、文庫の概要

◇県民の安全で安心な暮らしに欠かせない4つのテーマごとに、県民の課題解決に役立つ図書を充実



◇広く県民のために供用

3、運営方法

◆文庫に賛同いただける企業、団体、個人の方々からの寄附（図書寄贈）を基本に運営

主なインセンティブ

- 寄贈図書への記名
- 当館ホームページでの紹介
- 館内の専用紹介コーナーの設置
- ・・・等を検討中

『福島県立図書館アクションプラン（第2次）』の取組状況について（平成27年度終了時点）

資料5

（『福島県立図書館アクションプラン（第2次）』の実施期間は、平成25年度から平成29年度までとなっています。中間年度である、平成27年度終了時点の取組状況は以下のとおりです。）

I 東日本大震災等により失われた読書環境、学習環境を取り戻します。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
1 東日本大震災等の記録をのこします。	①「東日本大震災福島県復興ライブラリー」の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・震災、原発事故及び復興関連資料の継続的な収集、整理、保存を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災福島県復興ライブラリー」の整備を図るため、資料の選定・購入・寄贈の呼びかけを行い、整理、提供している。(継続) (蔵書冊数 24年度：7,141冊, 25年度：9,512冊, 26年度：12,276冊, 27年度：13,832冊)
		<ul style="list-style-type: none"> ・関連資料の寄贈の呼びかけを積極的に行い、網羅的な収集に努める。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災福島県復興ライブラリー」の積極的な提供と活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災福島県復興ライブラリー-資料一覧」を作成している。(継続) (平成25年度以降、半年に1度[3月、9月]発行) ・「東日本大震災福島県復興ライブラリーブックガイド」を作成し、利用の促進に努めている。(継続)(No.19まで発行済み。) ・県内外の施設での震災復興ライブラリーの出張展示を実施するとともに、広報に努めている。(25～) (25年度：4か所, 26年度：1か所, 27年度：3か所) ・「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」の作成、半年毎の更新に努めている。(25～)
	②関係機関との協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館としての支援の記録を作成し公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内市町村立図書館、公民館図書室等の状況をまとめるため、「東日本大震災の被災及び復興状況(2014.1.31まとめ)」を作成した(25) ・避難自治体を含む沿岸部(浜通り地方)13自治体に対し、復興状況等の調査を行った。(27)
2 支援体制の基盤を整備します。	①避難自治体及び避難者受入自治体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・避難自治体及び避難者受入自治体との連絡を密にし、読書環境等に関する支援ニーズの把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難自治体への支援として以下の事業を実施した。(事業内容の詳細は別添一覧を参照) ・大熊町図書館、富岡町図書館への一次立ち入り時に当館職員が同行し、状況の把握を行った。(25) ・飯館村教育委員会の求めに応じ、移動図書館の図書整理、運用等について運営相談を実施した。(継続) ・広野町公民館図書室を訪問し、貸出資料を回収するとともに、当館の事業について説明し状況を聞き取った。(26) ・浪江町教育委員会の求めに応じ、仮設小学校の図書室整備、資料の充実について運営相談を実施、日本図書館協会からの支援に結びつけた。(27) ・県内の避難自治体の仮設住宅・仮設校舎に対し移動図書館「あづま号」の巡回を実施している。(継続) ・避難自治体を含む沿岸部(浜通り地方)13自治体に対し、復興状況等の調査を行った。(27)(再掲) ・避難者受入自治体として規模の大きな、会津若松市、いわき市に対しては、支援の連携等も視野に入れた状況確認事務を継続実施し、支援ニーズの把握に努めた。(継続)

I 東日本大震災等により失われた読書環境、学習環境を取り戻します。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
2 支援体制の基盤を整備します。	②支援団体とのネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館関係機関や支援団体等への窓口となり、寄せられる支援情報について整理し、被災した自治体に対して的確な情報提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（公社）日本図書館協会が設置する、東日本大震災対策委員会（被災地図書館情報交換会）に職員を派遣し、同協会をはじめ、宮城県図書館、岩手県立図書館、国立国会図書館、文部科学省、総務省、ユニセフ、国際ボランティア団体シャンティ等との、情報及び意見交換を行うとともに、各種団体からの支援情報を県内図書館関係施設に提供した。（継続）（平成23年度に始まり、これまで10回開催）
3 読書環境・学習環境の整備を通じて「ふるさと再生」を支援します。	①避難自治体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅及び仮設校に対して、支援を受けた資料の中から希望するものを揃え提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・38の市町村教育委員会に対し、県内外の自治体、団体、個人から支援された資料4,644冊を提供した。（25） ・（公社）日本図書館協会が設置する、東日本大震災対策委員会（被災地図書館情報交換会）に職員を派遣し、同協会をはじめ、宮城県図書館、岩手県立図書館、国立国会図書館、文部科学省、総務省、ユニセフ、国際ボランティア団体シャンティ等との、情報及び意見交換を行うとともに、各種団体からの支援情報を県内図書館関係施設に提供した。（継続）（再掲）
		<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅及び仮設校に対し、移動図書館の巡回により資料の貸出を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の避難自治体の仮設住宅・仮設校舎に対し移動図書館「あづま号」の巡回を実施している。（継続）（再掲）
		<ul style="list-style-type: none"> ・避難先において、仮設図書館、移動図書館等の業務を行う自治体に対して支援貸出を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新設の県立ふたば未来学園の開学に当たり、運営相談、資料の貸出・提供等を実施した。（27）
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、公民館の帰還再開に向けて、各自治体の要望に応じた支援が行えるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大熊町図書館、富岡町図書館への一次立ち入り時に当館職員が同行し、状況の把握を行った。（25）（再掲） ・広野町公民館図書室を訪問し、貸出資料を回収するとともに、当館の事業について説明し状況を聞き取った。（26）（再掲） ・避難自治体を含む沿岸部（浜通り地方）13自治体に対し、復興状況等の調査を行った。（27）（再掲）
	②避難者受入自治体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・相互貸借・支援貸出等により、それぞれの自治体に応じた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」の作成、半年毎の更新に努めている。（25～）（再掲） ・当館資料情報サービス部発行の機関誌である「福島県郷土資料情報」に雑誌、市町村広報誌等に掲載された東日本大震災関連記事一覧をまとめた。（25～） ・避難者受入自治体として規模の大きな、会津若松市、いわき市に対しては、支援の連携等も視野に入れた状況確認事務を継続実施し、支援ニーズの把握に努めた。（継続）（再掲）
③被災した図書館・公民館図書室等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・被災により生じた汚破損資料の補完及び貸出等について、個々の状況に応じた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大熊町図書館、富岡町図書館への一次立ち入り時に当館職員が同行し、状況の把握を行った。（25）（再掲） ・飯館村教育委員会の求めに応じ、移動図書館の図書整理、運用等について運営相談を実施した。（継続）（再掲） ・広野町公民館図書室を訪問し、貸出資料を回収するとともに、当館の事業について説明し状況を聞き取った。（26）（再掲） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した郷土資料等の保存・デジタル化等について、県内の図書館等に対して助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新設の県立ふたば未来学園の開学に当たり、運営相談、資料の貸出・提供等を実施した。（27）（再掲） ・避難自治体を含む沿岸部（浜通り地方）13自治体に対し、復興状況等の調査を行った。（27）（再掲） 	

II 県民一人ひとりのお役に立てるよう図書館環境を整えます。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
1 県民が必要とする情報を提供します。	①県立図書館としての蔵書の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県及び県の関係機関、団体の発行する資料の収集はもとより、県内外で発行される福島県関連資料の収集・整理・保存に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の全ての部署に対し、資料を発行する際に県立図書館への寄贈を呼びかけている。(継続) ・県内の自治体や団体、個人が発行する資料の収集に努めている。(継続) ・福島市出身の詩人長田弘氏(平成27年5月没)の旧蔵書の搬入(2月5日)を受け、整理作業に着手した。(27)
		<ul style="list-style-type: none"> ・県民が、生活に必要な情報を入手し、生涯を通じた学習を行い、文化的な生活をおくるために必要な資料を提供するため、参考資料(事典、白書、統計、図鑑等)の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の実態を踏まえ、参考資料の充実に努めるとともに、資料の収集と整理提供に努めている。(継続)
		<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館の活動を支援する図書館として、相互貸借を通して市町村立図書館の利用者からのニーズに対応できる蔵書構築を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等からの資料購入希望も踏まえながら、資料の選定を行っている。(継続)
		<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な資料保存の重要性を考慮し、貴重資料・新聞等のデジタル化を計画的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重資料について、随時デジタル化を実施し、ホームページ等で公開している。(継続) ・デジタル化した地方紙について、ボランティアの協力により記事見出しの入力に努め、一覧をホームページで公開している。(継続)
		<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書統計・利用統計を活用し、資料の収集に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用統計を月毎に、蔵書統計を年度毎にまとめ、業務に生かしている。(継続)
		②課題解決のための支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・調査相談カウンターの特性を活かし、利用者に対して効率的な情報及び資料提供を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事例のデータベース作成・公開に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館のレファレンス協同データベースに対し、当館のレファレンス事例を提供している。(継続) (25年度：30件、26年度：5件、27年度：提供に向け作業中)
	<ul style="list-style-type: none"> ・調査相談の統計を活用し、利用者のニーズを分析することで、的確な情報提供に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・統計の記録方法を見直し、従来よりも詳細な利用統計を記録することとし、今後の分析に備えた。(25)(再掲)
	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインデータベース(「日経テレコン21」等)の活用を図るため、各種案内、利用説明講座等を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・データベース端末周辺のサイン、案内を見直した。(25～) ・本の森への道しるべ「新聞の調べ方」を更新し、オンラインデータベース等の利用について紹介した。(26)
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関する資料及び情報を提供する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援コーナーの資料の充実に努めている。(25～)
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・健康に関する資料及び情報を提供する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・県立医科大学衛生学予防医学講座との連携により、講演会を開催している。(継続)
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会に対応する資料及び情報を提供する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・医療、健康、高齢社会に関する資料の充実に努めている。(継続)

II 県民一人ひとりのお役に立てるよう図書館環境を整えます。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
1 県民が必要とする情報を提供します。	②課題解決のための支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・就業を支援する情報、ビジネスに役立つ情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民のために働く自治体職員を情報面で支援するため、福島県自治研修センターの受講者（区市町村職員）に対し、行政支援サービス周知のためのチラシを配布している。（継続） ・雑誌コーナーにビジネス関連雑誌のコーナーを設け、利用に供している。（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ・調査に役立つ、リンク集等Webコンテンツを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で発行する「本の森への道しるべ」「福島県郷土資料情報」等各種二次資料について、ホームページへの掲載と公開を進めた。（継続） ・ホームページのデザインを見直した。（26）
		<ul style="list-style-type: none"> ・福島県に関する資料（地域資料）の目次・索引などを計画的にデータベース化し、インターネットで公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した福島県に関する資料の目次を目録化し、目次の情報から検索可能にしている。（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ・行政資料を収集・保存し、県民にわかりやすいように整理し、提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の全ての部署に対し、資料を発行する際に県立図書館への寄贈を呼びかけている。（継続）（再掲） ・県内の自治体や団体、個人が発行する資料の収集に努めている。（継続）（再掲）
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体職員の求めに応じた調査、資料・情報の提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民のために働く自治体職員を情報面で支援するため、福島県自治研修センターの受講者（区市町村職員）に対し、行政支援サービス周知のためのチラシを配布している。（継続）（再掲）
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の配布等により、自治体職員に対し県立図書館の機能を周知する。 	
	③人と資料を結ぶ情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的関心が高いテーマについて新規のパスファインダーを作成し、計画的に内容を更新していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と資料を結びつけるため、パスファインダー「本の森への道しるべ」等の作成、更新、提供に努めている。（継続） ・「福島県郷土資料情報」、「地元紙記事見出し一覧」等各種情報誌の発行を行っている。（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ・県民が知りたいと思う情報の要求に対応できる資料や情報を紹介するため、「福島県郷土資料情報」等を定期的に発行する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・館内で企画展示、時事展示、ミニ展示等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と資料を結びつけるため、社会的関心が高いテーマ、時宜に併せたテーマについて、館内で企画展示、時事展示、ミニ展示等を実施するとともに、各地で出張展示を実施している。（継続）（平成25年度：53件、平成26年度：69件、平成27年度：78件）
		<ul style="list-style-type: none"> ・県内図書館や文化関連機関等の関係機関と連携し、館外での移動展示会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と資料を結びつけるため、各種イベント等を館外においても実施するとともにそれに併せて県内の各種施設で図書館資料の展示を行っている。（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報や生涯学習意欲を喚起するテーマの講座を、関係機関とも連携し開催する。併せて関連資料の展示やリストの作成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報の提供や生涯学習意欲を喚起するため、さまざまな機関と連携し講演会・講座を開催している。併せて資料の展示を行い、資料リストを作成している。（継続）（連携機関の例：福島県立医科大学、福島県文化財センター白河館、福島県歴史資料館、福島市史編纂室、磐梯山噴火記念館、福島サイエンスぷらっとフォーム等）
		④職員の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館との人事交流を通じ、職員の研修を深めると同時に情報交換に努めている。（27） ・県内外の大会・研修会に職員を派遣し、職員全体会等で伝達研修を行い、知識の共有化に努めている。（継続）
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが自己研さんに取り組む職場環境の醸成に努める。 ・休館日の職員全体会にあわせて、職員研修を実施している。（26～） 			

II 県民一人ひとりのお役に立てるよう図書館環境を整えます。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
2 県民が利用しやすい環境を整えます。	①図書館利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ有効な広報に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の広報手段の見直しを行い、各種タウン誌のほか、福島市政だより等幅を広げた（26～） ・避難者受入自治体として規模の大きな、会津若松市、いわき市に対しては、支援の連携等も視野に入れた状況確認事務を継続実施し、支援ニーズの把握に努めた。（継続）
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報手段として、見やすく使いやすいホームページの作成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく使いやすいHPの作成のため、「福島県立図書館情報ネットワークシステム」の更新に併せてHPを更新し、表示項目、内容の整理の実施、読み上げ機能の追加等を実施した。（26）
		<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジン等を用いた、迅速な広報に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な広報の手段について、SNS等の活用の可能性の検討を行うとともに、関連の研修に職員を派遣した。（27）
		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者向けに図書館活用方法を周知するための講座を実施する。例：「蔵書検索使い方講座」、「調べ物講座」、「インターネット利用講座」等 	<ul style="list-style-type: none"> ・当館職員を講師として、利用者向けに講座を開催している。（継続）（インターネットの使い方講座）
		<ul style="list-style-type: none"> ・「福島県立図書館情報ネットワーク」の環境整備に努め、時代に適応したインターネット環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「福島県立図書館情報ネットワークシステム」を更新し、サービスの向上を図った。（26,27） ・見やすく使いやすいHPの作成のため、「福島県立図書館情報ネットワークシステム」の更新に併せてHPを更新し、表示項目、内容の整理の実施、読み上げ機能の追加等を実施した。（26）（再掲） ・館内で国立国会図書館の歴史的音源の視聴について提供を開始した。（25～） ・館内で国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」に参加、提供を開始した。（26～）
		<ul style="list-style-type: none"> ・公衆無線LAN、Wi-Fi等、次世代の図書館利用に必要と思われるネットワーク環境の整備について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・館内でWi-Fi（ソフトバンク）を利用できる環境を整備した。（25～）
	②図書館内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの考え方に基いた、わかりやすいサイン・マップ等の整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすく分かりやすい館内環境を目指し、館内案内図、書架サインの見直しを実施し、利用者によりわかりやすいサイン・マップの整備に努めた。（25～） ・来館の困難な方を対象とした、資料の宅配サービス、郵送による利用者登録とパスワードの発行を実施し、当館ホームページで広報に努めるほか、県内図書館・公民館図書室、仮設住宅集会所等にチラシ・ポスターの設置を依頼した。（25～）
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用に障がいのある人でも利用しやすい環境と体制を整える。 	
	③図書館利用手段の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・県内全域及び県外避難者への宅配サービスの普及に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館の困難な方を対象とした、資料の宅配サービス、郵送による利用者登録とパスワードの発行を実施し、当館ホームページで広報に努めるほか、県内図書館・公民館図書室、仮設住宅集会所等にチラシ・ポスターの設置を依頼した。（25～）（再掲） ・「福島県立図書館情報ネットワークシステム」を更新するにあたり、「マイライブラリー」機能、「新着図書お知らせ」機能などを付加し、インターネットを通じた図書館利用促進を図った。（26）
		<ul style="list-style-type: none"> ・県内全域及び県外避難者への郵送等による利用者登録、パスワード登録の普及に努める。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる予約の周知に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・返却期限票の裏面等を利用し、ネットサービスの周知を図っている。（継続） ・在庫資料予約、いわゆる「あるもの予約」を提供開始した。（27）
		<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地返却の周知に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用案内、返却期限票の裏面等を利用し、返却可能な県内図書館の周知を図っている。（25～）
<ul style="list-style-type: none"> ・「受取館指定」サービスの導入を検討する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在検討を行っている。 	

II 県民一人ひとりのお役に立てるよう図書館環境を整えます。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
2 県民が利用しやすい環境を整えます。	④新たな課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化や、「電子書籍」等に見られる情報技術の革新による新たな課題への対応を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・館内でW i - F i (ソフトバンク)を利用できる環境を整備した。(25～)(再掲) ・「福島県立図書館情報ネットワークシステム」を更新するにあたり、「マイライブラリー」機能、「新着図書お知らせ」機能などを付加し、インターネットを通じた図書館利用促進を図った。(26～)(再掲)
3 県民と共に歩む図書館を目指します。	①県民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者等を委員とする図書館協議会を開催し、県民の意見を反映した図書館活動の展開を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会を開催し、提案を運営に反映している。(継続) ・ご意見箱により利用者から意見を受け付け、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(25～) ・新聞等の投書欄に寄せられた意見について、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(27)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等により、県立図書館への意見を随時受け付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPで意見を受け付け、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(25～) ・ご意見箱により利用者から意見を受け付け、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(25～)(再掲) ・新聞等の投書欄に寄せられた意見について、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(27)(再掲)
		<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの取り組み状況について、分析と評価を行い公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの取り組み状況について、分析と評価を図書館協議会等で公表している。(継続)
		<ul style="list-style-type: none"> ・福島県公共図書館協会の活動を通じて、市町村立図書館等のニーズを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県公共図書館協会で「実務担当者会」を開催し、市町村図書館等のニーズを聞き取るとともに、各種研修等でアンケートを実施し、ニーズの把握に努めている。(継続) ・把握したニーズに基づき、研修の実施、事業の改善に努めている。(継続)
	②県民の文化振興への寄与	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業への共催、後援、職員派遣等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転30周年記念事業として、文化講演会の開催、貴重資料の展示、各種講座の開催、大人向け図書館見学ツアー、親子向け図書館探検、おはなしかい等を開催した。(26) ・各種団体と連携し、朗読会、講演会等を開催している。(継続)
		<ul style="list-style-type: none"> ・県民の文化活動を支援するため、研修室を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進団体等に研修室を提供している。(継続) ・学校の長期休業にあわせ、研修室を自習スペースとして開放している。(26～)
<ul style="list-style-type: none"> ・成果発表の場として展示スペースを提供する。(ロビー展示) 		<ul style="list-style-type: none"> ・個人団体へ成果発表の場として館内ロビースペースを提供している。(継続) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を通じた県民協働の図書館づくりを目指す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料整理、データ入力、発送梱包等の作業に、図書館ボランティアによる活動支援を受けている。(継続) ・ボランティア向けの研修として、白河市立図書館の見学を実施した(27) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報や生涯学習意欲を喚起するテーマの講座を、関係機関とも連携し開催する。併せて関連資料の展示やリストの作成を行う。(再掲) 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報の提供や生涯学習意欲を喚起するため、さまざまな機関と連携し講演会・講座を開催した。併せて資料の展示を行い、資料リストを作成している。(継続)(再掲) (連携機関の例：福島県立医科大学、福島県文化財センター白河館、福島県歴史資料館、福島市史編纂室、磐梯山噴火記念館、福島サイエンスぶらっとフォーム等) 	

Ⅲ 福島県の子どもの読書活動を推進します。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
	①資料の収集・提供を通じた支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどものへや」の役割として、児童資料の収集を積極的に行い、提供する。 ・「児童図書研究室」の役割として、児童図書研究資料の充実を図り、提供する。 ・障がいのある子どもや、日本語が母国語ではない子どもが、本や図書館と親しめるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づく資料や多言語・多文化を考慮した資料を収集し、提供する。 ・市町村立図書館等からの要望に応えるため、児童資料及び子どもの読書活動に関する資料の貸出を行い、参考となる資料をまとめたセットや大型絵本などの貸出を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集と整理提供に努めている。(継続) ・時宜に合わせ、こどものへやで資料の展示を行っている。(継続) ・県内市町村立図書館等からの求めに応じ、セット資料、大型絵本等の貸出を行っている。(継続) ・多文化を考慮した資料として、ブックリスト「本はともだち 子どもと楽しむせかいのむかしばなし」を作成した。(27)
1 『福島県子ども読書活動推進計画(第2次)』に基づき、県立図書館の役割を果たします。	②子どもの読書活動を推進するための情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしかい」や図書館見学等を実施し、子どもが読書に親しむ機会を提供する。 ・子どもからの調査相談に対し、興味・関心を伸ばせるよう積極的に対応する。 ・子どもの読書活動に関わる大人からの調査相談に対し、子どもたちの読書活動推進につながるよう積極的に対応する。 ・子どもの読書活動推進に役立つ二次資料の作成と発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「おはなしかい」、「ちいさなおはなしかい」等を開催している。(継続) ・幼稚園や学校などからの要望に応じ、館内見学やおはなしかいを行っている。(継続) ・県立美術館との連携により「あーとなおはなしかい」を開催している。(継続) ・幼稚園や学校などからの要望に応じ、館内見学やおはなしかいを行っている。(継続) ・移転30周年記念事業として、おはなしかい、親子向け図書館見学等を実施した。(26) ・美術館の展示にあわせ、美術館でおはなしかいを実施した。(26) ・関係機関と連携し子ども向け講座を開催している。(26) ・関係機関と連携し子ども向け講座を開催している。(継続) ・県社会教育課主催の「読書と科学のコラボ事業」として各種事業、イベントに職員を派遣した。(25) ・ふくしまサイエンスぷらっとフォーム主催のサイエンス屋台村に参加し、資料の展示を行った。(25～) ・県教委主催の「こどもの本がつなぐスマイルプロジェクト」を主管し、県内22カ所で、講演会の開催、資料の展示、読書相談等を実施するとともに、ブックリストを作成し配布した。(26～) ・県社会教育課主催の「子ども読書活動推進研修講座」(県内各地域の子ども読書ボランティアを養成する講座)に当館職員を講師として派遣した。(25) ・児童図書研究室ニュース、LITTLE BIG等を作成し情報を発信している。(継続) ・児童図書研究室ニュース、LITTLE BIG、本の森への道しるべ等を作成し情報を発信している。(継続)(再掲) ・県教委主催の「こどもの本がつなぐスマイルプロジェクト」を主管し、県内2カ所で、講演会の開催、資料の展示、読書相談等を実施するとともに、ブックリストを作成し配布した。(26～)(再掲)

Ⅲ 福島県の子どもたちの読書活動を推進します。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
1 『福島県子ども読書活動推進計画（第2次）』に基づき、県立図書館の役割を果たします。	②子どもの読書活動を推進するための情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館及び子どもの読書活動を推進する関係者等への情報提供や助言、研修会への講師派遣などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内市町村からの求めに応じ、研修会へ当館職員を講師として派遣している。（継続） ・県社会教育課主催の「子ども読書活動推進研修講座」（県内各地域の子ども読書ボランティアを要請する講座）に当館職員を講師として派遣した。（25）（再掲） ・県教委主催の「こどもの本がつなぐスマイルプロジェクト」を主管し、県内2か所で、講演会の開催、資料の展示、読書相談等を実施するとともに、ブックリストを作成し配布した。（26～）（再掲） ・児童図書研究室ニュース、LITTLE BIG、本の森への道しるべ等を作成し情報を発信している。（継続）（再掲）
	③学校図書館活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館へ相互貸借や支援貸出を行うと同時に「学校図書館活動支援セット」の充実と有効活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを整理し、「学校図書館への支援」のWebサイトを設けた。（26） ・市町村教育委員会、学校等の求めに応じ、支援貸出を行うとともに、学校図書館活動支援セットの貸出を行っている。（継続） ・学校図書館活動支援セットの充実と活用の促進を図っている。（継続）
	③学校図書館活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館に関わる職員等に対し、学校図書館運営の支援、研修会への講師派遣などを行う。 ・学校教職員の研修等にあわせ、子どもの読書活動や図書館の役割について周知する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等の求めに応じ、研修会等へ当館職員を講師として派遣している。（継続） ・学校の求めに応じ、見学を受け入れるとともに、おはなしかい等を開催している（継続） ・「初任者研修」の分科会として、学校図書館職員向けの研修を主催している。（継続） ・中学生の職場体験を受け入れ、図書館の利用と理解を図っている。（継続） ・僻地校の図書を選定している。（継続） ・福島県優良図書の推薦を行っている。（26～）
	③学校図書館活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校への移動図書館による支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な図書館の利用が困難な利用者の読書活動の支援の一環として、特別支援学校への移動図書館による巡回を実施している。（継続）
	③学校図書館活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立学校については、地元教育委員会・図書館等と共に、地域ネットワークを活かした学校図書館活動を支援し、それぞれが連携し情報を共有できる体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校国語教科書紹介図書所蔵一覧を作成し、HPで公開した。（25） ・小学校低学年向けブックリスト「本はともだち」を作成した。（26） ・「児童図書研究室ニュース」で「夏休みの友」参考図書一覧を作成した。（27）

IV 「図書館の図書館」として、図書館の振興を図ります。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
1 図書館・公民館の活動を支援します。	①県内の図書館・公民館図書室のネットワーク体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「福島県図書館情報ネットワーク」の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「福島県図書館情報ネットワークシステム」の改善のため、更新にあたり、市町村図書館の要望を聞き取り、仕様に反映した。(25~27)
		<ul style="list-style-type: none"> ・「福島県内図書館間物流効率化事業」の整備と改善に努め、県立図書館を基幹とした、県内図書館関係機関による相互貸借等の利用推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「福島県内図書館間物流効率化試行事業」を実施し、市町村立図書館の負担軽減を図った。(25, 26) ・「福島県内図書館間物流効率化試行事業」の改善を図るため、「実務担当者会議」を開催するなど、要望の聞き取りと体制の改善を図った。(25, 26) ・県立図書館をハブとした物流の効率化を実施している。(27)
		<ul style="list-style-type: none"> ・福島県公共図書館協会における「実務担当者会議」や「地区別連絡会」を充実させ、県内図書館員間の連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内図書館、公民館図書室職員間の連携を強化するため、福島県公共図書館協会の「実務担当者会議」等を開催し、また地区ごとに開催される「地区別連絡会」に県立図書館職員を派遣している。(継続) ・協力車通信を発行し、各種情報の提供に努めた。(25) ・実務担当者会議を「相互協力部門」の他、図書館活動の実情を踏まえ「児童サービス部門」を新たに追加した(27~)
		<ul style="list-style-type: none"> ・資料譲渡等により県内図書館間で資料の有効活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館の市町村支援用図書の見直し、市町村教育委員会、学校、保育園、障がい者施設等を対象とした図書のリサイクル会を開催し、図書の有効活用を図るとともに、各施設の読書環境を資料の面で支援した。(26, 27) ・図書のリサイクル会を、県中地区で開催し、各施設の読書環境を資料の面で支援した。(27)
	②県内の図書館活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の図書館等からの未解決調査相談への支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の図書館等から寄せられる調査相談、運営相談に対応している。(継続)
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館及び図書館未設置自治体への資料・情報・運営・技術等の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の図書館等から寄せられる調査相談・運営相談に対応している。(継続) (再掲) ・県内市町村の図書館等に対し、図書館活動支援貸出を実施している。(継続) ・県内市町村の図書館を協力車で巡回し、資料の搬送を行うとともに、各館で運営相談を実施している。(継続) ・県内図書館未設置町村に対して、移動図書館による巡回を実施し、併せて運営相談等を実施している。(継続) ・猪苗代町の図書館設置に向けた相談について、運営相談を実施した。(25, 26) ・県内の自治体、図書館、学校等からの求めに応じ当館職員を講師として派遣し、出張講座を行っている。(継続)
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館設置を目指す自治体への支援を行う。例：「移動図書館車」「支援貸出」「出張講座」等 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内図書館未設置町村に対して、移動図書館による巡回を実施し、併せて運営相談等を実施している。(継続) (再掲) ・猪苗代町の図書館設置に向けて、運営相談を実施した。(25, 26) (再掲) ・県内の自治体、図書館、学校等からの求めに応じ当館職員を講師として派遣し、出張講座を行っている。(継続)

IV 「図書館の図書館」として、図書館の振興を図ります。

9つの行動	事業概要	事業詳細	平成27年度終了時の取組状況
1 図書館・公民館の活動を支援します。	③県内図書館等職員の養成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・受講対象者の幅広いニーズに対応できるように、研修テーマを精選しながら専門研修や初任者研修を開催するなど研修機会の充実を図る。 ・図書館員のスキルの向上に役立つ情報の提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「初任者研修」「専門研修」の開催にあたり、ニーズを踏まえながら、研修のテーマを精選している。(継続) ・「初任者実務研修」を開催し、県内図書館等の初任者の育成を図るとともに、職員間の交流の促進を目指している。(27～) ・「館種別研修」を開催し、施設によって多様なニーズを抱える県内市町村図書館等の職員の要望に応えた。(27) ・北日本図書館連盟の担当館として北日本図書館大会を開催した。(26) ・文部科学省主催の図書館地区別研修を開催した。(26) ・国立国会図書館との人事交流を通じ、職員の研修を深めると同時に情報交換に努めている。(27)(再掲)
2 高等教育機関、文化施設等関係機関との連携を図ります。	①高等教育機関とのネットワーク体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふくふくネット」を活用した、物流の活発化を図る。 ・「ふくふくネット」を活用した、図書館職員の相互研修の充実を図る。 ・福島県内大学図書館連絡協議会等のネットワークを駆使し、他館種の職員との情報交換や、物流体系の円滑化等の強化と拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふくふくネット」により、参加館間で資料の効率的な運用を図っている。(継続) ・福島県内大学図書館連絡協議会へ職員を派遣し、情報の交換を行っている。(継続) ・福島県内大学図書館共通利用証を発行し、利用者の利便を図っている。(継続) ・福島県内大学図書館連絡協議会の年次事務局館として連絡調整を行った。(27)
	②関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・県内文化施設との連携事業を継続的に実施する。 ・他機関との連携による事業の創出を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館との連携による「あーとなおはなしかい」を開催。(継続) ・磐梯山ジオパーク協議会等との連携による展示「いま、磐梯山ジオパークが面白い！」を開催。講演会等を実施した。(25) ・関係機関との連携により、「ふくしまを知る連続講座」を開催している。(26～)(平成26年度：6回、平成27年度：5回) ・県立美術館との連携による「夏、冬、春休み向け共同チラシ」の作成を行い、福島市内の近隣小学校に配付した。(26～) ・県社会教育課主催の「読書と科学のコラボ事業」として各種事業、イベントに職員を派遣した。(25) ・関係機関との連携により、「ふくしまを知る連続講座」を開催している。(26～)(平成26年度：6回、平成27年度：5回(予定))(再掲) ・ふくしまサイエンスぷらっとフォーム主催のサイエンス屋台村に参加し、資料の展示を行った。(25～)(再掲)
	③図書館関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の図書館関係団体との連絡調整を図り、地域図書館の拠点として情報の共有と提供を行う。 ・国立国会図書館等の総合目録及びレファレンスデータベースへのデータ提供を継続的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館、日本図書館協会、北日本図書館連盟との定期的な連絡に努めている。(継続) ・国立国会図書館との人事交流を通じ、職員の研修を深めると同時に情報交換に努めている。(27)(再掲) ・国立国会図書館の総合目録ネットワークに対し、当館蔵書のデータ提供を行っている。(継続) ・国立国会図書館のレファレンス協同データベースに対し、当館のレファレンス事例を提供している。(継続)(再掲) (25年度：30件、26年度：5件、27年度：提供に向け作業中)

◆指標

指標	プラン策定時の基準値	目標値 (平成29年度)	現況値	傾向の評価
年間貸出 総冊数	平成22年度:239,619冊 (平成23年度:104,646冊)	増加を 目指します。	平成27年度末: 182,427冊	東日本大震災等の影響により大きく減少したものの、回復傾向にある。
(うち学校 図書館への 貸出冊数)	平成22年度:4,394冊 (平成23年度:2,954冊)	6,000冊以上	平成27年度末: 6,065冊	震災等の影響により減少したものの、震災前を上回る増加傾向にある。
年間受入 総冊数	平成22年度:13,716冊 (平成23年度:23,991冊)	増加を 目指します。	平成27年度: 21,691冊	年間3万冊弱で推移しつつあったが、27年度は寄贈図書を受入冊数が減少したた。
年間調査 相談件数	平成22年度:12,591件 (平成23年度:4,231件)	増加を 目指します。	平成27年度末: 11,928件	有意な差は見られない。
情報発信 件数	講座展示会等 平成22年度:61回 (講座:44回 展示17回) (平成23年度:19回) (講座:10回 展示9回)	増加を 目指します。	平成27年度:112回 (講座:24回 展示:88回)	企画展示を毎月の実施とするほか、時宜にあわせ、ミニ展示、時事展示の開催、講座の開催、職員の講師派遣を行うことで増加している。
	資料発行 平成22年度:38回 (平成23年度:20回)			平成27年度: 64件
市町村に おける 子ども読書 活動推進計画 の策定率	平成22年度:47.5% (平成23年度:61.0%)	85%以上	平成27年度末: 98.3% (58/59市町村)	増加傾向にある。 26年度末:94.9% 25年度末:84.7% 24年度末:76.3%
図書館情報 ネットワーク システムへの 参加市町村数 (横断検索)	平成22年度:8市町村 (平成23年度:14市町村)	23市町村 以上	平成27年度末: 23市町村 (福島県男女共生 センター図書室を含む)	増加傾向にある。 26年度末:21市町村 25年度末:20市町村 24年度末:19市町村

【参考】数字で見る福島県立図書館の5年間

統計項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入館者数	232,133	85,545	169,623	174,911	167,097	162,594
館外個人登録者数（新規）	4,171	2,019	3,248	3,285	3,577	3,145
館外個人登録者数（更新）	1,831	996	1,773	1,452	1,260	1,422
館外個人貸出冊数	187,663	71,294	134,867	130,545	141,191	140,598
館外個人貸出者数	50,457	19,792	37,180	36,274	39,591	38,426
遠隔地返却冊数	6,794	2,577	6,407	5,788	6,205	5,924
レファレンス件数	12,591	4,231	8,232	11,585	12,133	11,928
インターネット端末利用件数	9,149	3,552	5,684	5,638	6,790	6,710
HPアクセス数（トップ）	171,916	143,057	132,462	130,593	135,196	148,481
複写処理件数	5,847	2,375	4,813	4,963	4,932	4,736
複写処理枚数	73,138	27,867	72,293	59,778	55,808	51,994
相互貸借貸出件数	1,608	824	1,363	1,505	1,564	1,451
相互貸借貸出冊数	6,519	3,996	5,657	5,749	6,331	5,470
相互貸借処理件数（借受含む）	1,842	969	1,552	1,674	1,793	1,666
相互貸借処理冊数（借受含む）	6,823	4,198	5,902	5,981	6,652	5,839
移動図書館あづま号貸出冊数	31,312	22,021	25,789	23,376	25,589	26,330
市町村支援貸出冊数	10,514	4,732	5,336	4,333	10,876	4,871
学校図書館支援貸出冊数	1,264	602	536	215	0	1,500
学校図書館支援セット貸出件数	86	54	84	114	118	63
学校図書館支援セット貸出冊数	3,130	2,352	3,255	4,451	5,063	2,769
特別貸出（研究機関等）件数	21	65	105	104	101	114
特別貸出（研究機関等）冊数	1,066	862	647	586	1,134	889
個人宅配件数	26	30	69	42	26	32
個人宅配冊数	151	215	450	265	195	219
年間貸出総冊数	241,468	105,859	176,087	169,255	185,121	182,427

平成 27 年 12 月 4 日開催の図書館協議会における
ご意見、ご要望に対する検討内容等について

ご意見・ご要望	検討内容
<p>見出し一覧の作成を今後も続けてほしい。</p> <p>地元の記事をもっと首都圏など図書館から外に向けて情報発信してほしい。</p>	<p>見出し一覧の作成は今後も継続して行います。</p> <p>情報発信としましては、インターネットの活用を主眼に、ホームページの充実に取り組んでいるところであり、その中で「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」や「3. 11 からの福島の新聞」などの新聞情報を掲載しています。</p> <p>首都圏向けやホームページを閲覧しない方々に向けた情報発信の手段、方法については今後<u>検討したい</u>と思います。</p>
<p>利用者が震災前の 7 割～8 割になっていることについて検討が必要。</p> <p>入館者数が戻らないことについての要因の分析・調査も必要と考える。</p>	<p>タイムリーな利用状況の調査・分析は対応策の検討・実施に不可欠であります。平成 26 年度の実績に基づく分析と対策については、平成 27 年 7 月号の会報で情報提供しておりますように、具体的に特定することは難しいので、入館者数や貸出冊数だけにとらわれることなく、利用者サービスの向上に努めることで、実績を伸ばしていきたいと思っております。</p>
<p>入館者が減少していることについて、県民の文化の向上のために県立図書館がリーダーシップをとって調査してほしい。</p>	<p>各館に個別の事情があるため、一概に論じることは難しく、県立図書館としての役割を果たすべく努めてまいります。</p>
<p>数字を踏まえて満足度をどうやって計っていくのか。</p>	<p>利用者満足度を計る手段・方法は一概には難しいので、入館者数や貸出冊数等の客観数字を比較、検討しながら取り組みの充実・強化を図ってまいります。</p>
<p>資料購入費用の確保はどうするのか。</p>	<p>予算の増額につきましては、毎年要望しておりますが、大変厳しい状況にあることから、各種交付金・補助金等の活用など、新たな財源の確保にも努めます。</p>
<p>図書館の満足度を上げるための環境整備が必要。(トイレをウォシュレットに改修するなど)</p>	<p>満足度を上げるために、利用者の視点で施設の環境整備を行ってまいります。</p> <p>トイレの洋式化の改修につきましては予算要望しておりますが困難な状況にあります。</p>
<p>ホームページについて、スマートフォンでは見づらい部分もあるので改善してほしい。</p>	<p>スマートフォンの普及状況から、専用ホームページの運用は情報提供の一つと認識しておりますが、開発経費の確保と運用面でのマンパワー不足のため困難な状況にあります。</p>

[資料 2]
項目 No.1

ご意見・ご要望	検討内容
<p>資料宅配サービスは便利だが、機械的に届くのでさびしい感じがする。</p> <p>相互貸借と資料宅配を統合したサービスをしてはどうか。</p>	<p>現在、「受取館指定」サービスの実施について検討をしています。これによりインターネットで予約した資料を、希望する県内の図書館で受け取ることができるようになりますが、相手図書館の協力が必要ですので速やかに意向調査を行い、協力を得られる館から実施してまいります。</p> <p>なお、資料宅配サービスにつきましては送付文を添付することとします。</p>
<p>本の内容を紹介したPOPをつくってみてはどうか。</p> <p>POPは利用者を書いてもらうなど、利用者に積極的に参加してもらってはどうか。</p>	<p>どのようなことが可能か検討し、ミニ展示、時事展示などから実施したいと思います。</p> <p>その後、利用者の参加について可否も含め<u>検討します。</u></p>
<p>企画棚などのコーナーを作って高校生や民間の図書グループなどの利用を含めた企画を取り入れてみてはどうか。</p>	<p>高校との連携につきましては、高校側の意見や要望を確認しながら<u>検討します。</u></p>
<p>学校図書館の司書教諭等への支援を続けてほしい。</p>	<p>司書教諭等への支援としましては、当館が行う「初任者研修会」の中に、平成25年度より学校図書館分科会を設置しています。さらに、他の研修会におきましても、公共図書館職員に限定することなく、学校図書館関係者への周知も行い、希望者の参加を認めるなど、研修環境の充実に努めているところです。また、学校や自治体が企画する研修会の講師も引き受けています。</p> <p>県立学校図書館以外の学校図書館への直接的な関わりにつきましては、各自治体教育委員会が所管する関係上、県教育委員会が主導し、当館は実務担当として支援する役割となっております。</p>
<p>どのような年代の人がどのように利用しているかなどの分析をしてみてもどうか。</p>	<p>図書館システムから年代別の利用状況データを抽出し、分析することとしました。その結果により図書選定等に反映させることができるか<u>検討してまいります。</u></p>
<p>展示ケースは見づらい部分もある。本や本の裏側をアップした資料を手元に置くとか、関係する本を近くに置くとかする工夫が必要だと思う。</p>	<p>展示用台を立てるなど見やすさを工夫していますが、今後も、文字を大きくするなどさらに努力してまいります。</p>

[資料 2]
項目No.2

[資料 2]
項目No.3

[資料 2]
項目No.4

ご意見・ご要望	検討内容
<p>ブックスタート事業県教育庁と連携して0歳からの本の情報発信をしてほしい。</p>	<p>県内22市町村がブックスタート事業を実施しており、県教育委員会では、乳幼児健診時等における絵本の読み聞かせや、読書活動支援者向けのブックスタートに関する研修会等を実施しています。</p> <p>当館としましては、選書の参考となるブックリストの提供、事業担当者間の情報交換の場の提供などによりブックスタート事業の支援を行ってまいります。</p>
<p>所蔵資料を活用してグッズを作って提供するなど、図書館にしかないものをアピールしてはどうか。</p>	<p>所蔵資料の有効活用とアピールについて、今後も検討してまいります。</p>

